

R6 宮古恵風支援学校 相談支援部 地域支援業務件数

1 相談人数 延べ（4月～3月）

保育所	小学校	中学校	高等学校	幼児療育教室	計
11人	8人	26人	5人	66人	116人

2 相談形態

訪問	来校	電話	計
49件	0件	1件	50件



※1回の訪問で複数名の支援を行う場合もあるため、相談人数と件数が異なります。

3 地域支援業務内容

継続型訪問支援	担任が初めて特別支援学級を担当している学校や、児童生徒への具体的な指導・支援や学級経営について苦慮しているなどの学校・幼稚園・保育所に対して、継続的に訪問支援を行う事業。	17件
随時相談支援	依頼を受けて、幼保・小・中・高等学校に対して行う相談支援。	9件
保育士等支援事業	市町村の依頼により、保育所を訪問して保育士等を支援する事業。	6件
幼児療育教室	市町村の療育教室への参加。	18件
圏域支援員相談会	圏域の介助員及び支援員の専門性の向上を目的とした相談会（2回実施）。	

4 宮古恵風支援学校相談支援業務に関するアンケートの結果より

本校では、特別支援教育センター校としての相談・研修・情報提供等の相談支援業務の状況について、外部関係機関等へアンケートを行い、その結果を次年度に向けた反省と評価の参考としています。

本校の継続型訪問支援及び随時相談でのアドバイスの内容について、支援先の特別支援学級だけでなく通常学級の生徒に活用したケースや、教科横断的な視点で授業づくりに活用したケースがありました。また、本校のアドバイスの内容を関係機関と共有し、関係先が実践に活用したケースがありました。しかし、本校のアドバイスの内容を他の事例に活用できなかったケースもあったことから、支援先の学校が本校のアドバイスをどのように他のケースに活用できるかという視点を持ち、支援方法の検討をさらにすすめていく必要があると考えます。

今後も本校は、宮古圏域の特別支援教育に関するニーズを把握し、相談・支援・研修・情報提供等の活動を通して、各校の自校解決に向けた取組を応援させていただきます。

アンケートに協力いただいた関係機関の皆様、大変ありがとうございました。

